



10月25日(土) 日中学院文化祭

A先生の新語コーナー



kě zhuī sù “可追溯”

トレーサビリティ。履歴管理。中国は農産物の安全性を高めるため、トレーサビリティ・システムを全面的に推進することになった。2007年から上海、武漢、合肥等で実験が始まった農産物の履歴管理はその生産から消費に至る各段階を監視の対象としている。市民は小売店でこれらの商品を購入する際、同システムを通じて産地、栽培、加工、包装、検査等の重要情報を検索し、問題が見つければ、責任の所在をはっきりさせることができる。(A)

後楽寮寮生との納涼会報告

2008年9月8日(月) F班山下



9月6日(土) 17:00より後楽寮4階ルームで寮生との納涼会が行われました。土曜日の夕方にも拘らず大勢の方に参加いただきました。学院生は18名で学習コース別には土曜夜間・夜間週三班・昼間ステップアップなどの同学が参加しました。前回のバザーのあとの交流会は総勢20名ほどでしたが今回は総勢42名になり、世代も幅広く中国語を学習している方が多く居る事を改めて感じました。

当日は16:30学院に集合し後楽寮へ行き納涼会に参加しました。後楽寮では既に準備がされており、先方責任者の趙先生の呼びかけにより軽食を食べながら積極的に中国語と日本語の会話で交流が行われました。初めて参加する学院生の方達も日頃の学習の成果を発揮されていました。後半は漢字当てゲームや趙先生による日本史クイズなど行い最後はビンゴゲームで大変に盛り上がりました。



今回も寮生との交流を深めると共に学院生同志の仲間が増えたように思います。今後また機会があればこのような企画を互いに行いましょうと話がまとまり終了しました。今回の件では学院事務局を始め皆様のご協力いただきありがとうございます。ここにお礼申し上げます。

会計報告

収入	18,000円(18名×1,000円)
支出	軽食代 15,000円(オリジン弁当より)
	飲み物 3,243円(ファミリーマートより)
	合計 18,243円
過不足	247円不足しますが少額なので当方で負担いたします。

倉石武四郎先生

日本中国語検定協会名誉理事 宮田一郎

《应用汉语词典》(商务印书馆, 2000年, 北京)の見出し“开”の积義の後に「注意」として“开开”は動詞“开”の重ねの場合と、動補構造の連語の場合があるとの説明が加えられている。わたくしはよくこの辞典を用いるが、この「注意」を目にするたびに、倉石武四郎先生のお姿が浮かぶ。

30歳になったばかりのころかと思うが、日本大学で開かれた中国語研究会(日本中国語学会の前身)の例会が開かれたときのことである。“开开”の構造についてのシンポジウムがあり、座長をつとめられた牛島徳次先生のご報告を中心に全体会議が開かれた。会員からいろいろ意見が出されたが、“你把门关上!”と対比して“你把门开开!”を考える向きが多かったように思う。わたくしは卞民岩先生と共に聴いていたが、先生は「重ね型のケースがあまり注意されていないようである。こういう例があるから、君から言ってくれ」と、“开开门, 打灯笼, 送送人”の句を示された。お言葉に従って、「卞先生はこう言っておられます」と前置きして披露したが、特に論議されることもなく、閉会になった。

帰宅して3~4日たったころ、倉石先生からお葉書が届いて、びっくりした。天下の倉石先生から、田舎の一高校教師に直直に「君の発言はよかった」とのおほめの言葉である。卞先生からと前置きしておいたのに、どうしてか先生は聞き漏らされたようで、あわててそのむねをお知らせしたが、これを契機に先生からいろいろお教えいただけるようになった。“开开”のとりもつ縁である。

そのころ北陸線は単線で、先生が講演で北陸に出張されたとき、福井駅で30分近く停車することがあった。先生から「都合がいたらホームまで来ないか」とご連絡があり、車窓ごしに中国における中国語の研究動向などのお話を承ったことなど、数々の思い出がある。

先生の中国語研究の片鱗に触れたのは、なんといっても、先生の『岩波中国語辞典』の資料づくりの一端をになわせていただいたときである。わたくしは老舎の《离婚》を担当した。同書の全語彙を先生の『ラテン化新文字による中国語辞典』にあたり、同辞典の見出しにある語については、《离婚》に見える頁・行を同辞典に書き込み、見出しにない語は付箋に記して、貼り付ける、実詞は一語を採るだけでよいが、名詞は量詞の異なる場合、動詞は賓語・補語が異なる場合など、同一名詞・動詞であっても、何度でも採る、虚詞はすべての用例を採る、同辞典の立てる积義項目に収まらない場合は、付箋に記して張り付ける……などな

ど、きわめて精細なマニュアルをいただき、この作業経験は、その後のわたくしの中国語研究の基盤となった。

作業に2年余の歳月を費やしたが、その間先生から疑点に対するご教示をいただいたりして、わたくしにとっては、なにものにも代えがたい2年となった。

先生の『日中辞典』の資料づくりにも声をかけていただいた。身近の日常的な1例文に、数名の中国の方がそれぞれに付けられた中国語訳が1枚のカードになっていて、それらの複数の訳を参考にして日本人の担当者が訳を決めて、先生にお出しする、先生にご意見がある場合、そのお考えを示して、担当者に再考を求められるという、たいへんに念入りな進め方であった。わたくしはこの作業を通して、自分の中国語を見る目が広がってゆくのを実感した。



先生は『岩波中国語辞典』に老舎の作品から多く引例しておられるように、北方語を重視しておられた。これは「普通話」が北方語を基礎方言としていることからして、当然であるが、上海で学生時代を過ごしわたくしは、南方語がしみついており、『日中辞典』の作業では先生を煩わすことが多かった。

例を挙げれば、“讲”である。「彼は日本語をととても上手に話す」を“他日语讲得很好”、として先生の許に出すと、きまって先生から“说”にしてはどうかとお問い合わせが来る。「腰をかがめる」を“弯腰”として出すと、“毛腰”も加えてみたらどうかご意見が来る。万事この調子で、ずいぶん先生を煩わせたが、おかげで北方語に対するわたくしの理解は深まっていた。

先生から教わり、先生に学んだことはこれらばかりではなく、多岐にわたるが、これといったものを世に問うことのないままに、わたくしはいつしか先生の亡くなられた年齢をはるかに超えてしまった。学恩に報いることなく終わりそうで、まことに慙愧に堪えない。

〔編集室から〕

倉石武四郎先生は1897年新潟県高田市（現：上越市）のお生まれ。長年にわたって京都大学・東京大学教授を務められた後、倉石中国語講習会を主宰、日中学院を創設。1975年歿。ご著書に岩波中日・日中両辞典のほか、『支那語教育の理論と実際』（岩波書店）、『漢字の運命』『中国文学講話』『中国語五十年』（いずれも岩波新書）、著作集全2巻（くろしお出版）などがある。

「中国語の環」78号より転載

《我是医生，我很寂寞》(1)

作者：欧阳林

你听说过寂寞的医生吗？

医生从早忙到晚，连吃饭的时间都没有，哪还有多余的时间寂寞？

但是，我是医生，求求你一定要相信我，我很寂寞！

我的寂寞，来自我多年来一成不变的生活。

我在一间还算有点规模的医院工作，从当年的实习医师，住院医师，到如今的主治医师，多年来生活都被局限在这一栋大楼里。我住的地方，离医院很近，从医院正门出去，右转一直走到底，撞墙，再右转，数第三根电线杆，正对面那一座大厦的六楼就是。我在这一间房子里住了将近七年的时间，日子一直都依着习惯进行——

每天早上七点半，我会准时被一个声音唤醒：“起来了！起来了！起来吃早餐了！”那是我的闹钟，跳出来叫的是猫头鹰，发出的是嗒嗒嘲讽的声音，是高科技中最丑陋的产品。

我知道没有早餐，会赖床，于是迟了时间。最后匆匆忙忙地赶到医院上班时，也都没时间买早餐。我现在的工作主要是看门诊，很少再管病房的事。而门诊里会有一个跟诊的护士美眉，这护士美眉，年纪最轻的是四十二岁，名字或叫来弟，或叫静香，总是会一边打电脑一边吃着她的早餐，吃时拿起已经咬了一半的三明治，问我：“小龙龙，你要不要吃一口？”或是拿起她的红茶，亲切地问说：“嘿！Dear，你要不要也来一口？”

我对莉莉与小郑的故事没有兴趣，我感觉不到和她共吃一份早餐中的丰富连绵的爱意，笑着摇摇头，宁可饿肚子，转身看我的病人，并对病人说：“吃早餐是何等重要的事情，你每天无论如何都要吃一份营养的早餐，这样，你的身体才会好！”护士没有理我，继续拿起报纸，细读莉莉与小郑的故事发展，增加对我的信心。

Dr. ロンリー (1)

小酒真由子同学訳／徳久圭講師指導

さみしんぼうの医者があるって、知っているかな？
医者なんて朝から晩まで働きづめで、食事する時間
すらない職業だというのに、さみしがっているヒマが
あるかって？

実際、僕は医者だ。どうか信じてほしい。さみしい
んだ、僕は。

何年も代わりばえのしない生活が続く毎日。さみし
いのは、そのせいだ。

僕は大きくも小さくもない病院に勤めている。イン
ターン、レジデントを経て今のような勤務医になるま
で、僕のテリトリーは何年もずっと同じ、この病棟だ。
自宅だっのごく近所にある。病院の正面玄関を出て右
へ直進、突き当たりで右折して3本目の電柱まで歩く。
そのすぐ正面に見えるマンションの6階、そこが僕の
すみかだ。その部屋に暮らし始めて早7年。僕の1日は
ルーティーン通りに進んでいく……。

「起きて！ 起きて！ 朝ご飯よ！」——毎朝7時半
に、きまってこの声で起こされる。厚かましく叫び出す
のはミミズクで、僕の目覚まし時計だ。コイツは実に耳
障りなキイキイ声を立てる。まさに、ハイテクが生んだ
サイテーの産物といっている。

もちろん、朝ご飯なんて用意されてはいない。布団の
中でゴロゴロしているうちに時間だけが過ぎていく。
結局ギリギリになって朝ご飯も調達できないまま、バ
タバタと出勤するハメになる。現在、僕はほとんど入院
患者を診ることはなく、主に外来診察を担当している。
一応、この診察室にも白衣の天使はいる。が、天使と
言ってもせいぜい若くて42歳。僕につくのはライディ、
シズカのどちらかだ。うちのナースは、パソコンに向か
いながら朝ご飯を食べるのが当たり前。食べかけのサン
ドイッチを手に「ロンちゃん、一口あげようか？」と
か、飲みかけの紅茶を手に「ねえねえ、これ飲んでみ
る？」とか、ご親切にも話しかけてくる。

正直、僕は熟女との恋愛には興味がない。朝ご飯を分
けてもらっているうちに、その深く一途な愛に心打た
れて……なんてありえない。ニッコリ笑って首を振る。
いっそ腹ペコでいるほうがマシだ。だから、そんなとき
はさっそく診察を始めることにして、患者に声をかけ
る。「朝ご飯を食べることが何よりも大切なんです。毎
朝必ず栄養のあるものを摂ってください。それが健康
になるための第一歩ですよ」。ナースはそんな僕の様子
を気にも留めないで、今度は新聞を開くと、最近三面記
事を賑わせている「51歳の熟女と18歳の男子高校生の
純愛」騒動について熱心に読み始める。どうやら僕に
ちよっかいを出すのをやめる気はないらしい。

我的手机设定的铃声是古典名曲《少女的祈祷》，刚好是垃圾车的音乐，我一直不知道，这样的设定，在我的潜意识中，是直觉自己是垃圾，或自己是车。我的手机，在看病时很少响起，每次忽然听到手机的铃声，刹那间总以为是自己的，会赶紧伸手往口袋里抓，还没抓到时，我面前的病人已经拿起她的手机，说：“我现在在看医生，你能不能等一下再打？”

难得有时候，我的《少女的祈祷》真的轰轰烈烈地叫了起来，护士、病人都惊讶地往我这里看，我兴奋地将手机拿起来，大声地问道：“喂，什么事？”一副“我很忙，我没时间接电话”的伟人模样。对方听到我的声音，会叫一声：“哦！打错了！”然后将电话挂断！

这世界上，好像没有什么人会急着要找我的样子。

我现在几乎不管病房的事，所以，病房里不会急着找我，除非护士要办联欢时会找我乐捐！而我下午在休息室里休息，也想不到任何我可以打的电话。我纳闷的是，为什么别人可以打的电话总是那么多？休息室里，护士来弟打了三通电话问老公中午吃什么，老公明明说了排骨饭，她仍不相信，继续打；另一个护士静香打电话盯孩子吃完饭后要去做作业，孩子说想睡午觉她不答应；书记打电话提醒男朋友等一下约会时别忘了把昨晚留在她家的内衣带出来，怕留下证据，因为事关重大，同样的事，她也打了三通电话交代。我忽然想起我有一通电话可以打，那就是证券行的营业员。我兴奋地按了八个数字，问营业员说：“陈小姐，台积电今天收盘价是多少钱？”她淡淡地回答说：“九十七。”我听了好高兴，高兴的不是台积电的股价创新高，而是我终于在这一天打了一通电话，至少证明我的存在对别人来说有点意义，这着实挽回了我活下去的自信。

僕は、携帯の着信メロディをクラシックの名曲『乙女の祈り』にしている。ゴミ収集車がいつも流しているあのメロディだ。でも、同じ曲だなんて、長いこと気づかなかった。こんな設定にするのは、潜在意識では自分自身をゴミか収集車のように感じているということになるんだろう。実際、僕の携帯が診察中に鳴ることはほとんどない。それなのに突然着信メロディが響くと、一瞬自分の携帯かと思ってあわててポケットに手を伸ばしてしまう。が、もたついているうちに目の前にいる患者が携帯で話し出す。「今、病院。かけ直してくれる？」

めったにないことだが、実際に『乙女の祈り』がけたたましく流れ出すこともある。ナースも患者も驚いた顔で僕を見る。僕はといえば、内心ワクワクしながら携帯を取って「ああ、僕だけど」と声のトーンを上げる。「忙しくて電話に出ているヒマはないぜ」というフリで偉そうなポーズを取ってみるわけだが、相手は僕の声を聞くと一言、「あっ、間違えました！」と電話を切ってしまう。

どうやら、世界広しといえども、僕のことを今すぐ必要としてくれる人はいないらしい。

今はほとんど入院患者を診ていないので、病棟から急ぎの電話がかかってくることもない。例外は、コンパを開くため僕にカンパを出させようとするナースからの電話ぐらいだ。それに、昼休みに休憩室に入っても、僕から電話をかけてもいい相手が全く思い浮かばない。みんなは何であんなに何回も電話できるんだろう？休憩室の中はこんな具合だ——ダンナが昼に何を食べたか確かめるために何度も電話するライディ。ダンナははっきりパーカー飯を食べたと答えているようなのに、彼女は疑い深く繰り返し電話する。一方に子供が昼ご飯の後にちゃんと宿題をするかどうか、電話してチェックするシズカ。子供は昼寝をしたいと言っているようなのに彼女は耳を貸さない。それから、何やら証拠隠滅を図るのに忙しい事務員の女性。昨晚恋人の家に忘れていった自分の下着を、この後の密会に必ず持ってくるよう電話で念を押している。事情が事情だけに、何度も電話して同じようなお願い事を繰り返す——。

そうだ、僕もひとりだけ電話をかける相手を思いついた。証券会社の営業員だ。はやる気持ちで8ケタの番号をプッシュして、担当者に尋ねる。「もしもしチェンさん、台湾セミコンダクターの終値は？」彼女は素っ気なく答える。「97元です」。それを聞いて、僕はとてもうれしくなってしまう。高値が更新されたからじゃない。今日やっと、僕も電話を1本かけることができたからだ。こうして僕は、この先も生きていく自信を取り戻す。これで少なくとも、僕の存在が他人にとって多少は意味があると証明されたはずだ。

只因異土故郷地

「我回来了」(「ただいま」)

ガラガラと玄関の扉を開けて、ドスの利いた低い声で言いながら、中に入っていった。男の背中に哀愁が漂っていた。誰もいない部屋で冷蔵庫から缶ビールを取り出し、一口飲んだ。中国で見た日本映画のワンシーンだった。

誰かに声をかけているのかと思っていたので、奇妙な感じをした。日本に来て、日本人の友人や学生に聞いたことがあるが、家に誰もいなくても「ただいま」と言うと返事する人が何人もいた。自分の一番落ち着く所に戻ってきた安堵感がそうさせるのだろうか。あるいは、寂しく待っていてくれた家に対する労いの言葉だろうか。それとも、その一言で暖かい家庭の雰囲気醸し出そうという願望の現われだろうか。

「父母在不遠遊」だが、「親不孝」の私は、今、年に二回ほど天津にいる両親の所に帰るようにしている。祖国の北京の大地を踏む度に、ホッとすが、大分前から、中国から日本に戻ってきて、成田空港に着いた途端、「ただいま」は心の中で木霊している。

「ただいま」は、「今すぐ」という意味もあるが、家族にすぐ会いたいという「帰心似箭」(帰心は矢の如し)の表れだろうか、それとも、怠慢な私に「今」をもっと大切にして、今を生きなければならぬという天の戒めだろうか。

ただいまと心の中で

木霊するただいま踏むは故郷の土

「お帰りなさい」

ベルを押すといつも先生の優しい声が聞こえ、清海の通っている保育園の扉は「ガチャっ」と心地よき音を響かせて開錠される。

子供がもう一つの「我が家」で楽しく過ごしていたと思うと一日の疲れが癒されて、「先生の「お帰りなさい」聞こえれば心ポカポカ足は軽やか」と思わず口から可笑しな歌が出てくる。

中国語には「賓至如帰」という言葉がある。旅館やお店に入った客が暖かいもてなしを受けて、まるで自分の家に帰ったようだという表現である。「お帰りなさい」を聞いた時の心情は、正にこの言葉でしか表現できない。

「お帰りなさい」の一言だけでも家の暖かさ、家族の温もりが伝わってきて、お互いの心が今風に言えば「零距离」になった。「ただいま」もそうだが、日本語の中にこのような短くて、心のこもった挨拶が多いように思える。

保育室に入ると、清海が手を叩いて、ジタバタ地面を踏んだ最大限の歓迎をしてくれる。「また明日」と挨拶して、「今日、水遊び楽しかった」と嬉しそうに報告するわが子の手を引いて我が家に帰る。

先日、オリンピックの開幕式のテーマソングの「我和你心连心同住地球村」「我和你心连心远一家人」を聞いた時、何故か保育園のインタホンから流れてきた「お帰りなさい」を思い出された。

僕と君心と心つながりて

永遠^{とわ}の家族の地球村かな

kotomusi

コトムシ

読書の秋 芸術の秋

いかがお過ごしですか？
いよいよ本格的な秋に突入。
勉学に読書に、図書室をフル
に活用していただけたらと思
います。

●ホット一息

【1 旅行・地図コーナー】

○「ヒーリング癒しの中国
チャイナ」 撮影：清水安雄
大森洋司・中山勝蔵 原稿：志
摩千歳・佐々木勇志・松本貴子
産業編集センター発行

学習に行き詰ったときに好
適。題名もズバリ「癒しの…」
とサブタイトルがついた旅行
ガイドブック。勿論仕事に疲
れたときもOK。 北京・上海・
蘇州・桂林・杭州・・・と豊富
な写真に適度な量の文章。写
真からは食物の匂いや人々の
ざわめきが伝わってきて、当
地に行かなくても行った気分
にさせてくれる。

○「中国の小さな古鎮めぐり」
撮影：清水安雄 取材・原稿：
志摩千歳・佐々木勇志 産業
編集センター出版

陶淵明の「桃花源記」に描か
れた村はここではないかと思
いたくなるような風景。旅行
会社のツアーには含まれない
ような所ばかりである。そう
なると、なんとか中国語をも
のせねば・・・と思うのは小生
だけであろうか。

○「じっくり北京もっと北京」
屈 明昌・高橋通子著
元就出版社

北京五輪が終わったから、
北京観光という人がいるかも
しれませんね。本書は、観光案
内というよりも北京の文化に
ついて深く知ることでできる
本です。紫禁城の見所や皇帝
の生活、科挙試験や宦官、万里
の長城について理解できるだ
けでなく、北京ダック・宮廷料
理・シュウマイやシャブシャ
ブなど食に関する物語も盛り
込まれていて一冊で二冊分の
収穫。普通のガイドブックは
卒業という人にお薦め。

●試験に・勉学に

【2 テキストコーナー】

○「中国語の文法」基本例文暗
唱ドリル 本間史 著 アル
ク ◎中国語検定3級「一ヶ月
でできる総仕上げ」 洪潔清・
陳 敏著 ◎中国語検定2級
「一ヶ月でできる総仕上げ」
洪潔清著 共に白帝社
◎中国語検定「4級合格ガイ
ドと直前模試」・「3級合格ガ

イドと直前模試」 永倉百合
子・胡 興智著 語研
その他 各級ごとの中検対策
用の問題集やTECCの過去
問・HSK対策と各種あります
から、ご利用下さい。

【予習・復習の友として】

◎「中国語のスタートライン」
輿水優 著 三修社
◎「快速マスター中国語」
植田一三・浅井伸彦著 語研
◎「起きてから寝るまで中国
語」(単語集) 本間史著 アル
ク ◎「ネイティブがよく使う
中国語表現」于美香・于 羽
著 語研 ◎イラストで学ぶ
「中国語量詞ハンドブック」
邱 奎福著 アルク

★新着図書★

◎「兄弟 (上・下)」余華著
泉 京鹿訳 ◎「現代中国の
歴史」久保亨 他著
◎「プライベートライフ」(私
人生活) 陳 染著 関根謙訳
◎「中国語暮らしのことば」中
国語友の会編 ◎「日中・中日
通訳トレーニングブック」高
田裕子・毛 燕著 ◎「仕事の
中国語トレーニングブック」
塚本慶一著 ◎「中国現代女
性作家群像」南雲 智編著



10月の日中学院

日	一	二	三	四	五	六
			1 ●本科 推薦入試 受付開始	2 ●教職員健康診断	3 ●別科 公開講座	4 ●別科 朗読大会 ●別科 公開講座
5	6 ●別科授業開始 (231期開講式) ●本科 短縮授業 開始	7 ●別科 7~10日 お休み	8	9	10	11 ●別科授業日
12	13 ●体育の日 休日	14	15	16	17	18
19 ●HSK試験日	20	21	22	23	24	25 ●文化祭 (別科休講日)
26	27	28 ●本科日本語科 文化祭代休	29	30	31	

●11月の日中学院

- ・ 3日…文化の日(休日)
- ・ 4日…本科 推薦入試結果発表
- ・ 5日…本科 09年度一次募集受付開始

- ・ 9日…一日集中講座
- ・ 10日…日本語科 定期試験(～14日まで)
- ・ 15日…倉石賞授賞式

- ・ 21日…日本語科パスハイク(箱根)
- ・ 23日…中国語検定試験日
- ・ 24日…別科授業日
- ・ 24日…本科日本語科 お休み

■寄贈

下記の方より、図書室に寄贈がありました。ありがとうございました。

◎張蕾様(編著者)より

「河豚」 黒竜江科学技術出版社

◎匿名様より

「南京市区衛星影像地図集」

哈尔滨地图出版社

◎本科8期生 故加藤正敏様(著者)

より「レッドチャイナ」 文芸社

◎日本語科9期生 張蕾様(著者)より

「芥川龍之介と中国」 図書刊行会

■耳目

●後楽寮生との納涼大会開催

9月6日後楽寮にて日中学院学生との納涼会を行いました。本号の1頁で代表者の方よりご報告いただいております。ご参照ください。

●訃報 倉内透同学(別科昼初級クラス)が9月20日膵臓がんのため逝去されました。享年73歳。ご冥福をお祈りいたします。

●よいこの学習会解散

平松先生を中心とした学習会「よいこの学習会」の解散に伴い、活動資金残高44,284円を日中学院留学生疾病基金にご寄付いただきました。ありがとうございます。

●文化の日公開講座

・ 10月18日(土)

①中国語入門コース(昼)13:00～14:30

②中国語入門コース(夜)18:30～20:30

③中国語基礎コース 18:30～20:30

・ 10月19日(日)

④中国語入門コース10:00～12:00

入門コースはこれから中国語を始めたという方、基礎コースは週2回1年程度中国語を学習された方を対象にしたコースです。※詳細は同封のチラシをご覧ください。

●一日集中講座

以下の内容にて好評の一日集中講座が開講されます。

11月9日(日)10:00～15:00

(中一時間お昼休みがあります)

・ 中国語入門 ・ 発音復習

・ コミュニケーション中級会話

・ 補語について

・ 中国語検定3級対策講座

・ HSK対策

■編集後記



先日、日本語科同学のお母様が来日され当学院において下さいました。同学は上海出身で、この度記念として「上海世界博覧会」のマスコットキャラクターの「海宝(Haibao)」の人形をいただきました。ご覧になりたい方は事務局前に飾ってありますので覗いてみてください。(Y)